

テーパー形状を有するハイブリッド超軟毛歯ブラシの効果に関する臨床評価

景山歯科医院
○飯田しのぶ 景山正登



目的

歯肉に炎症がある患者のために、通常より細い毛で構成されたやわらかめの歯ブラシがいくつか市販されている。しかしこのような歯ブラシが、プラーク除去及び口腔内改善効果があるかどうかはあまり研究されていないのが現状である。そこで本研究では、超軟毛でかつ毛先がテーパー形状を有した歯ブラシを用いて臨床的に評価することで歯周病患者の口腔内改善効果を検証することを目的とした。

材料及び方法

1. 清掃用具

歯ブラシ: ルシェロ歯ブラシP-10S【株式会社ジーシー】
毛の太さ φ0.13mm (5mil)

*テーパー形状になっているので、患者に歯周ポケットの存在を意識してもらいやすくモチベーション効果が高いと考えたので選択した。

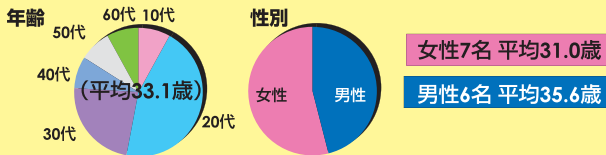
歯磨剤 : ルシェロペースト【株式会社ジーシー】
(低研磨性)



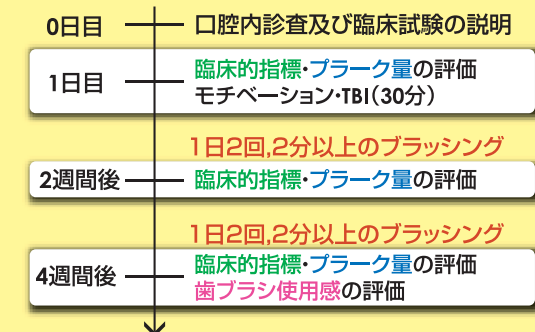
ハイブリッド段差植毛

2. 被験者

- ・2006年6月から12月までに景山歯科医院を受診した患者13名
- ・BOPが25%以上、又はポケット深さが4mm以上の部位があること



3. 試験方法

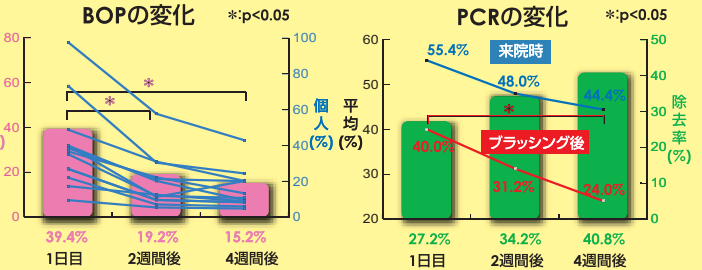
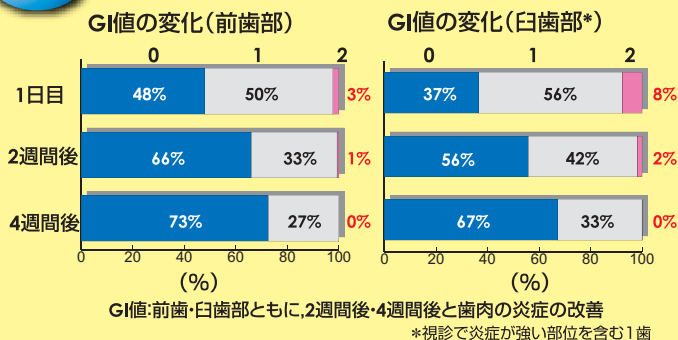


- 1) 臨床的指標:
 - ・Bleeding on Probing (BOP)
 - ・Probing Depth (PD)
 - ・Gingival Index (GI) (前歯部・臼歯部1歯)
 - ・口腔内写真撮影
- 2) プラーク量:
 - ・O'LearyのPCR法 (来院時、ブラッシング後)
- 3) 歯ブラシ使用感:
 - ・アンケート

試験期間中、被験者は歯ブラシP-10Sを用いてブラッシングを行った。
従来行っていた清掃方法はそのまま継続させた。
ただし歯磨剤はルシェロペーストのみとした。

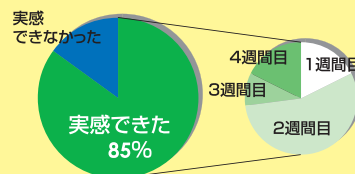
4. 統計分析 : 臨床的指標、プラーク量をturkey法にて解析を行った。

結果

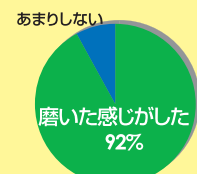


アンケート結果

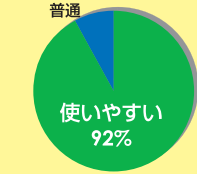
歯肉が改善したのを実感できたか?



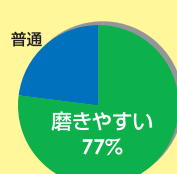
磨いた感じがしたか?



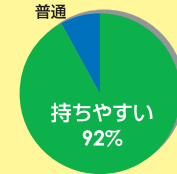
現在使用中の歯ブラシより使いやすいか?



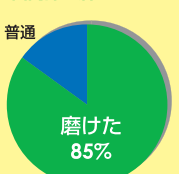
歯頸部の磨きやすさは?



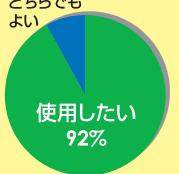
ハンドルは持ちやすいか?



歯間部は磨けたか?



今後も使用したいか?



口腔内写真 (20代男性)

ブラッシング(Br.)前



PCR (Br.後) 91.1% → 74.4%
歯肉の発赤・腫脹
Br.時の出血・疼痛

PCR (Br.後) 88.1% → 55.4%
歯肉の発赤の軽減
Br.時の出血と疼痛の減少

PCR (Br.後) 78.6% → 25.6%
歯肉の腫脹の軽減

考察

ルシェロ歯ブラシP-10Sは、毛先がテーパーでかつ超軟毛であることにより、簡単なブラッシングでも毛先がポケット付近まで到達し、BOP, GIの改善につながったと考えられる。1また、この形状により、歯周ポケットの存在を意識してもらいやすくモチベーション効果が高かったため、来院時のPCRが減少したと思われる。

アンケート結果から『使いやすい』『今後も使用したい』という声が多く、炎症がある患者に導入し易く、継続して使用する可能性が高い歯ブラシであることがわかった。

結論

ハイブリッド超軟毛歯ブラシP-10Sは、BOP等の臨床的指標の改善に効果があることが示唆された。